

平成30年3月27日

苫小牧港管理組合総務部港湾振興室
横浜市港湾局物流運営課

苫小牧港と横浜港の協力体制構築のため連携協定を締結しました

苫小牧港では、韓国、中国、北米との国際定期コンテナ航路やフェリー、RORO船、コンテナ船の国内定期航路が就航しており、物流を支える港づくりに取り組んでいます。

一方、横浜港では、戦略港湾としての基幹航路の維持・拡大を目指し、国際フィーダー航路*の拡充など、積極的な施策を展開しています。

このたび、これまでの両港の取組を活かしながら、相互協力体制を構築するため、協定を締結しました。

なお、今年度、横浜港と地方港湾との協定締結は、岩手県内港湾（平成30年2月）に続き2件目となります。

1 協定締結の目的と連携内容

苫小牧港と横浜港が連携することで、国際フィーダー航路等を活用した海上輸送ネットワークを強化し、今後見込まれる東南アジアとの貿易の増大など、海上物流の変化に的確に対応し、荷主の利便性向上を図っていくことを目的に、以下の項目について相互協力体制を構築していきます。

- (1) 苫小牧港と横浜港との連携による海上輸送ネットワークの充実強化
- (2) 荷役機械、電気設備等の管理・運営面における技術協力
- (3) LNGバンカリング拠点形成に向けた情報交換、国等への施策提言
- (4) 国際コンテナ物流に関する情報交換、国等への施策提言及び予算要望

2 協定締結日

平成30年3月27日

3 今後の展開

苫小牧港管理組合と横浜市で協議し、具体的な事業展開について検討して進めていきます。

※国際フィーダー航路

国際コンテナ戦略港湾(京浜港・阪神港)で
外航航路と接続する内航コンテナ航路



協定締結の様子（右から苫小牧港管理組合 佐々木専任副管理者、横浜市 伊東港湾局長）

お問合せ先

苫小牧港管理組合総務部港湾振興室長	池渕 雅宏	Tel 0144-34-5901
横浜市港湾局物流運営課長	岩上 教行	Tel 045-671-2919